



社会福祉法人 すこやか福祉会
株式会社 ファミリーケア
2012年1月1日 第20号
<4月・7月・10月・1月 年4回発行>

新年



謹んで新年のご挨拶を

三月十一日以来胸痛む日々が続きました。復旧復興には長い年月、原発事故の対処も長期化しそうです。しかし、人と人のつながりや絆を考えさせられる年でもありました。

昨年九月に、『特別養護老人ホーム 葛飾やすらぎの郷』の十周年の祝賀会を開催することができました。多くの皆様に支えられている事をあらためて実感し、心から感謝申し上げる次第です。

今年四月には、介護保険法が『改正』されます。介護職の医行為など軽視できることや、財政論ありきの『改正』法に向き合い、地域に必要とされるサービス事業所として職員一同奮闘していく所存です。

二〇一二年は皆が笑顔で希望の持てる年になりますよう。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

社会福祉法人すこやか福祉会
理事長 中山 美千代

新年





被災地にむけて クリスマスツリー作り

学童保育の子どもたち

『先週、知り合いと共に石巻に行ってきました。2ヶ所の仮設住宅をめぐり、被災地の方とふれあつきました。…現地に行く前に状況をある程度聞いていましたが、実際に見ると想像以上の悲しい状況で言葉もありませんでした。もう8ヶ月以上経っているのに、まだ海には子どもの靴が浮かんでいました。3ヶ所あった小学校のうち、2校は津波に流され、残された1校で授業をしていました。皆さんのが静かに「みんな津波が持っていたやつね」と語る姿に答えようがありませんでした。

地震の日、避難していた小学校の校庭に次々とご遺体が流されてきて、それを子ども達に見せないようにずっと教室のカーテンを閉めたまま何日も過ごした事や寒い環境の中で低体温によって亡くなる年配の方になすすべもなかった事…そんな状況を見るに付け、聞くに付け、皆さん的心を軽く出来ることはないだろうかと考え、クリスマスが近い事もあり、ご供養の意味でもきれいなクリスマスツリー飾ったらどうしようと提案した所、「それはいい！もみの木を切ってきます。お願いします」と、とても喜んで下さったんです』と言う内容でした。

さっそく子ども達に話した所、どの子も真剣にその話を聞いていました。

いつもはちょっとおふざけしてしまう子もじっと聞き入っていました。「みんなでツリーの飾りを作りたいです」と何人かが言うと、そんなの当たり前じゃないと言うように「いつまでに?」「どんな飾りにするの?」と口々に言いにくる子がたくさんいました。「外にツリーを飾るので雨や風に強い飾りがいいよね」と言うとみんな又、真剣に考えているようでした。そこで、ナイスアイデアが出ました。

ガチャポンのケースやペットボトルをきれいに装飾して、たくさん吊り下げようと言う事になりました。キラキラ光るにはどんな物を引っ付けたらいいかなあと考え、ビーズをつけ、中には紙ねんどで作った飾りを入れたり、ガチャポンケースにもガラ

ス絵の具でイラストを描き、元気になってもらう言葉も書こうなど、思いつく事はどんどん取り組みました。作りながら少しでもいい物を被災地に届けたいという気持ちがあふれていました。

出来上がった物をひとつずつロープにぶら下げていくと、ため息ができるような素敵なオーナメントが出来上りました。4つの学童で作ったロープの合計は全部で8メートルの長さになりました。箱に入れるとズッシリと重く、子ども達の思いの深さそのままのようでした。届けてくれる先生に引き渡すと「ここまで素敵な物を作ってもらえるなんて」と驚かれていました。



素敵なオーナメント

翌週、被災地の方の様子や、ツリーの写真が送られてきました。ツリーは2ヶ所の仮設住宅に立てられ、夜にはイルミネーションが点されて輝いていました。その前で仮設に住む方たちがほほえんで集まっておられる姿が写っていました。



被災地のクリスマスツリー

お礼のメッセージの中には『天国に召された方にもこの灯が届きますように』と書かれてありました。



子ども達にとっても今回の災害は生涯忘れられない出来事になると感じています。

悲しい出来事ですが、その中で子ども達がたくさんのお事を感じ、優しい

豊かな心が育まれていることを強く感じています。復興に向けて長い支援が始まったことを教えて頂いた今回のツリー作りでした。



その後、第2段として歌声のメッセージ、『空より高く』をみんなでDVDにふき込んで贈りました。120人の歌声が石巻の空に響き渡る事を願って～！

グループホームかねがふち 一泊旅行 in 箱根



グループホームかねがふちは昨年11月14日に1泊で箱根へ行ってきました

入居者様・ご家族・ボランティア・職員の総勢21名でマイクロバスに乗り込み箱根へ向け出発～！！バスの車内は遠足のようにみんなで大合唱したり、バスから見える箱根の紅葉を眺めたりと新鮮な事がいっぱいです。



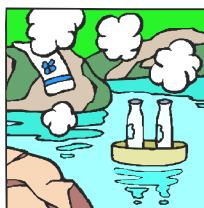
最初の目的地は「芦ノ湖」です。大きな湖を目の前にして昼食タイム！気分も高まります。芦ノ湖では遊覧船に乗り湖から見える景色を堪能します。皆さん外の景色に興味津々！何より皆さんとびきりの笑顔を見せてくれます。



遊覧船にて

芦ノ湖の観光後は宿に向かいます。宿には「温泉」「ご馳走」が待っています。これも旅行の楽しみの一つですよね。

夕食の宴会の前に「温泉」を楽しみました。職員と一緒に入る入居者様もいれば家族水いらずで楽しめる方も勿論いらっしゃいます。文字通り裸の付き合いですよね。



普段入っているお風呂よりも大きく温泉の雰囲気も最高で「足を伸ばせて入れるね！」「気持ちが良いね～」と歓喜の声が飛び交います。



夕食の宴会では待ちに待った「ご馳走」。次から次へと出てくるご馳走に皆さん舌鼓。普段、食の細い方もこの日ばかりは沢山召し上がります！

お腹が膨れたら入居者様の大好きな歌でカラオケ大会～！「瀬戸の花嫁」から「東京音頭」まで入居者様とご家族、職員が一体となって歌あり踊りあ

りの大宴会になりました。入居者様同士の交流や初めて見る素敵な表情を見たらまた一緒に行きたいなと思います。そんなこんなで楽しい夜は更けていきました。翌日も同様に箱根を観光し帰路につきました。



夜の宴会の様子

今回の旅行も大きな事故もなく、また天候にも恵まれ無事に終える事が出来ました。そして様々な方のお力添えがありました。本当にありがとうございました。

「すこやか福祉会を支援する会」にご入会をお願いします

- ①「やすらぎの郷チャリティバザー」
- ②「柴又花火観覧のつどい」
- ③「若葉コンサート」などの主催事業とすこやか福祉会や東都保健医療福祉協議会の各種行事に参加して、法人を支援しています。

年会費「1,000円」

すこやか福祉会を支援する会への入会方法

支援する会に入会ご希望の方は、下記までご連絡願います。

申込書及び郵便振替用紙を送らさせていただきます。また、ご質問などございましたらご連絡ください。

連絡先 TEL 03(5648)8250 やすらぎの郷
TEL 070(5558)8327 町田

ちょっと一枚
内定者の集い



『絵しりとり』わかるかな？



かばらデイサービスセンター
松村 佐知子

秋の味覚

はじめまして、かばらデイサービスセンター施設長の松村 佐知子です。

平成17年2月にグループホーム青戸で非常勤として働き、同年8月から葛飾やすらぎの郷で常勤として勤務しました。平成20年7月に娘を出産。育児休暇後平成21年の5月からかばらデイサービスセンターで仕事復帰しました。私の娘は私に似たのか、体がとても丈夫で、お休みや早退もほとんどなく、職場にそれほど迷惑かけることなく、現在も楽しく働かせてもらっています。

職場では、先輩ママさんも多く、育児の悩みや仕事との両立など相談しています。もちろん、どんな様や家族の支えもありますが、楽しく働かせてもらえて、感謝しています。施設長という大役、私には不相応かと思いましたが、3歳の娘とともに私も成長する機会だと思い、かばらデイの職員とともに力を合わせて、かばらデイサービスセンターを盛り立てていきたいと思います。今後とも宜しくお願ひ致します。

かばらデイサービスセンターは足立区東和3丁目にあります。お近くの方などぜひ遊びに来て下さい！スタッフ一同お待ちしております。

本部事務局〒120-0023 東京都足立区千住曙町4-16
TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252
URL すこやか福祉会 <http://www.sukoyaka-fu.or.jp>
URL ファミリーケア <http://www.family-care.co.jp>

福祉系2012年4月新卒 第1回 内定者の集い



11月23日に、来年4月に入職する新卒介護職員のための「第1回内定者のつどい」を開催しました。

今回は内定者17名中13名の参加となりました（先輩職員は12名参加）。内定者同士も初顔合わせですので、緊張していたようでしたが、『自己紹介ゲーム』、グループに分かれての『絵しりとりゲーム』、『鍋関係クイズ』をとおして、次第に和んできたようでした。



メインイベント『鍋具材争奪 ストラックアウト』では、鍋奉行の采配のもと、内定者&先輩の混合チームで鍋作りを行いました。どのチームも具材をフル活用し、美味しい鍋が完成しました。

最後に内定者&先輩との懇談をおこない、みんないい笑顔で記念撮影をしました。



新春を迎え、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

「住みなれたまちで」も、今号で丸5年20号になりました。今年も記事内容にいろいろと工夫し、より良いものを作っていくたいと思います。皆さま楽しみにしていてください。